

日本共産党

福山市議会だより

日本共産党福山市議団の
議会質問をお知らせします。

2023年新春号
議会報告

子どものために!



給食費 無料に

学 校の給食費を完全無料にする市町村は、この5年で3倍に増え、250を超えました。物価高が家計を苦しめるなか、子育て支援として無料化の動きはさらに広がっています。日本共産党は、「義務教育は無償」と定めた憲法にのっとり、福山市も無料化を急ぐよう求めました。

保 育所に入れない「待機児童」がなくなりません。昨年春の入所希望1万2046人のうち204人が入所できず、兄弟姉妹が別々になった家庭は158に上ります。市長は、待機児童の原因を「保育士不足」と認めました。日本共産党は、正規の保育士が増え、働き続けられるよう支援の充実を求め、「検討する」と前向きな答弁を得ました。

予算要望を提出

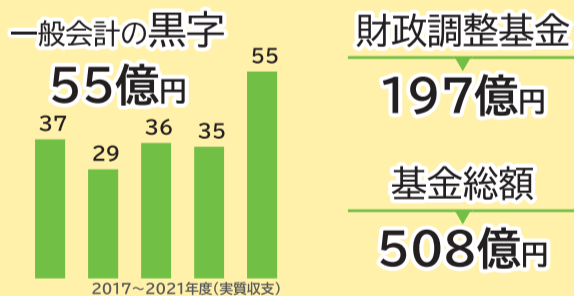


企画財政局長と意見交換する
高木たけし・みよし剛史市議

日本共産党は、福山市の新年度予算について、物価高やコロナ対策、子育てや教育、医療、福祉、地域経済、環境、防災など653項目の要望を提出しました。

財源はあります

福山市では毎年30億円前後のお金が余っており、昨年度は55億円もの黒字でした。余ったお金を積み立てる「財政調整基金」は197億円もあります。これらを有効に使えば、小・中学校の給食費無料(20億円)、医療費助成を18歳まで拡大(6億円)など十分に実現できます。



保育士 ふやして



署名提出に同席する
河村ひろ子市議(左)

子 どもの医療費を18歳まで助成する市町村は全国の約半数に増え、近隣でも井原、尾道、神石高原、世羅と広がっています。一方、福山市は中学校卒業までで、所得制限も自己負担金もあります。福山でもすべての子どもがお金の心配なく病院に行けるよう、18歳までの完全無料化を求める署名が市長に提出されました。

18歳まで 医療費無料に

1236人の署名が提出

日本共産党は、制度の改善に市として取り組み、国や県にも要望するよう求めました。



1195人の
署名が提出

補聴器の購入に補助金を

日本共産党 福山市議団



高木たけし
TEL 084-972-6830



河村ひろ子
TEL 084-965-6049



みよし剛史
TEL 090-1182-3973

TEL 084-952-2662 mail info@f-jcp.com
FAX 084-952-2660 HP www.f-jcp.com



高齢になるほど、誰でも難聴になる可能性があります。難聴は認知症のリスクを高めるため、早く補聴器を使うことが大切です。しかし、費用が高く、国の補助制度の対象も重度の難聴に限られています。全国では軽・中度の難聴の人への補聴器購入の補助が広がっています(東京都港区は約14万円を補助)。日本共産党は、福山市も補聴器購入を補助し、特定検診に聴力検査を加えるなど早めの受診につなげるよう求めました。



河村ひろ子市議

両耳の聴力が30dB以上の人に、年齢や所得の制限なく補聴器購入を補助するよう求める署名1195筆が市長に提出されました。